

ダンスカンパニー「DAZZLE」飯塚 浩一郎氏 特別講義のお知らせ

ー新しいパフォーマンス形態「イマーシブシアター」とは何かー

コピーライター・クリエイティブディレクターであり、ダンサー・振付家としても活動する飯塚 浩一郎氏をお迎えして、新しいパフォーマンス形態「イマーシブシアター」とは何か、過去の事例の紹介と従来型公演の比較等を中心に、大学時代から今に至る自身の経験を交えながらお話いただきます。

興味のある在学生のみなさん（専門学校、日本語学校、通信制高校含む）は、是非この機会にお申込みください！

<講義テーマ>

- 「クリエイターとして生きる」 大学から現在に至るまでの簡単な流れ・自己紹介
- 「イマーシブシアターとは」 過去事例の紹介と従来型との比較
- 「サクラヒメが挑戦していること」 観客に与える新しい体験、演者が発見する新しい自分

<講義詳細>

- 日時 : 2020年1月8日(水) 18:10~19:30 (質疑応答含む)
- 会場 : 人間館 NA208 教室
- 参加申込み : 前日1/7(火) 17時までに、QRコードから申し込みをお願いします。
URL (<https://forms.gle/P82miHPVojjapN2y5>) から申し込みできます。
- 当日持参物 : 筆記用具
- お問い合わせ : 企画広報課 リエゾン担当 遠藤 (Tel 075-791-8065/内線 3047)



飯塚 浩一郎 (いづか こういちろう)

京都造形芸術大学 通信教育課程 非常勤教員

コピーライター・クリエイティブディレクターであり、ダンサー・振付家。言葉と身体をクリエイティブの両輪に、広告・映像・舞台・ファッションなど様々な領域を自由に行き来して活動している。慶應義塾大学卒業後、株式会社博報堂を経て、株式会社 DAZZLE 設立。

広告においてはカンヌ広告祭シルバー、アドフェストゴールド、TCC 新人賞など受賞。

ダンスにおいては、ダンスカンパニー「DAZZLE」で海外の芸術祭にも数多く招聘され、2017年のカザフスタンアスタナ万博のジャパンデーでもパフォーマンスを行う。坂東玉三郎演出の舞台「バラレ」で主演を務めるなど、様々なアーティストとのコラボレーションも。都内廃病院を舞台にした作品「Touch the Dark」やワンピースとのコラボ作品「時の箱が開く時」など、体験型パフォーマンス「イマーシブシアター」の作り手としても注目されている。